



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画室長
四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日

(氏名) 福井 秀明
(氏名) 小島 真也
配当支払開始予定日

TEL 06-6538-7719
平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	45,641	7.5	2,635	168.4	2,272	289.9	1,569	254.5
24年3月期第2四半期	42,462	△0.5	981	37.0	582	146.0	442	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 825百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △522百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.88	—
24年3月期第2四半期	3.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	122,230		42,673		34.7
24年3月期	129,052		42,116		32.4

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 42,387百万円 24年3月期 41,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	2.0	4,500	6.2	4,000	7.9	3,000	36.0	22.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	133,984,908 株	24年3月期	133,984,908 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,780,935 株	24年3月期	1,773,229 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	132,208,191 株	24年3月期2Q	132,213,717 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済の状況は、東日本大震災からの復興需要を背景として、緩やかに回復する兆しがみられたものの、円高・デフレ基調の継続、欧州債務問題の長期化、新興国の景気減速感等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、機械部門で海外向け鍛圧機の増加、化学装置部門で工事進行基準による大型物件の売上計上に加え、二次電池関連プラントの完工などにより、売上高は前第2四半期連結累計期間比3,178百万円増収の45,641百万円となりました。

利益面では増収による増益に加え、原材料を中心に原価改善が進んだことなどにより、営業利益は2,635百万円(前第2四半期連結累計期間比1,653百万円増益)、経常利益は2,272百万円(前第2四半期連結累計期間比1,689百万円増益)となりました。

また、四半期純利益は、特別損失として投資有価証券評価損他を計上したことにより、1,569百万円(前第2四半期連結累計期間比1,127百万円増益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門において、耐震管を中心に前年並みに推移し、バルブ部門においても電力・鉄鋼分野での増加、海外向けを中心に高機能バルブの出荷が堅調に推移したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比798百万円増収の25,089百万円となりました。

営業利益につきましては、鉄管部門で耐震管を中心とした高付加価値製品の出荷増加および原価低減に加え、バルブ部門でも増収による増益に加え、個別物件ごとの原価改善が進んだことなどにより、前第2四半期連結累計期間比999百万円増益の1,516百万円となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門において、海外向けの鍛圧機の増加、化学装置部門で工事進行基準による大型物件の売上計上に加え、二次電池関連プラントの完工などにより、前第2四半期連結累計期間比2,913百万円増収の12,482百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益に加え、各種原価改善などにより、前第2四半期連結累計期間比329百万円増益の782百万円となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門において、夏期の電力需給逼迫懸念から工事の前倒し発注による電力、農下水向けの出荷が増加したものの、建材部門において、消音製品などの出荷が減少したことにより、前第2四半期連結累計期間比533百万円減収の8,069百万円となりました。

営業利益につきましては、建材部門において減収により減益となったものの、化成品部門では増収による増益に加え売上構成の改善などにより、前第2四半期連結累計期間比96百万円増益の156百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、仕掛品などが増加した反面、受取手形及び売掛金、投資有価証券などの減少により、前連結会計年度末比6,821百万円減少の122,230百万円となりました。

一方、負債におきましては支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金などの減少により、前連結会計年度末比7,379百万円減少の79,557百万円となりました。

純資産におきましては、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の減少、配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末比557百万円増加の42,673百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より384百万円減少の19,262百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,072百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少、仕入債務の減少による資金の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は682百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,729百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,673	19,289
受取手形及び売掛金	39,821	33,214
商品及び製品	7,591	8,922
仕掛品	5,483	5,964
原材料及び貯蔵品	2,174	2,235
その他	2,319	1,574
貸倒引当金	△208	△152
流動資産合計	76,855	71,048
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,630	22,630
その他(純額)	16,402	16,502
有形固定資産合計	39,033	39,133
無形固定資産		
その他	262	232
無形固定資産合計	262	232
投資その他の資産		
投資有価証券	9,522	8,303
その他	3,885	3,989
貸倒引当金	△506	△476
投資その他の資産合計	12,901	11,816
固定資産合計	52,197	51,182
資産合計	129,052	122,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,640	24,928
短期借入金	30,394	29,310
未払法人税等	283	202
引当金	1,754	1,200
その他	5,814	5,153
流動負債合計	66,887	60,797
固定負債		
社債	22	11
長期借入金	15,717	14,376
退職給付引当金	3,213	3,308
その他の引当金	22	22
その他	1,073	1,040
固定負債合計	20,049	18,759
負債合計	86,936	79,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	4,160	5,466
自己株式	△385	△387
株主資本合計	41,920	43,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△837
その他の包括利益累計額合計	△77	△837
少数株主持分	273	286
純資産合計	42,116	42,673
負債純資産合計	129,052	122,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	42,462	45,641
売上原価	32,522	34,173
売上総利益	9,940	11,467
販売費及び一般管理費	8,958	8,831
営業利益	981	2,635
営業外収益		
受取配当金	106	104
不動産賃貸料	70	69
その他	110	105
営業外収益合計	287	278
営業外費用		
支払利息	324	279
その他	362	362
営業外費用合計	686	641
経常利益	582	2,272
特別利益		
投資有価証券売却益	27	7
特別利益合計	27	7
特別損失		
投資有価証券評価損	159	415
その他	0	0
特別損失合計	160	415
税金等調整前四半期純利益	450	1,864
法人税、住民税及び事業税	140	125
法人税等調整額	△130	153
法人税等合計	10	279
少数株主損益調整前四半期純利益	440	1,584
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	14
四半期純利益	442	1,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	440	1,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△962	△759
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益合計	△962	△759
四半期包括利益	△522	825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△519	810
少数株主に係る四半期包括利益	△2	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	450	1,864
減価償却費	1,128	1,079
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△264	△87
受取利息及び受取配当金	△112	△106
支払利息	324	279
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	5,029	6,912
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,800	△1,872
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,327	△3,894
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	302	94
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△27	△7
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	159	415
有形及び無形固定資産除却損	16	19
その他	△407	△1,366
小計	3,470	3,331
利息及び配当金の受取額	203	194
利息の支払額	△316	△283
法人税等の支払額	△83	△171
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,273	3,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△200	△0
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5	△3
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	69	21
有形及び無形固定資産の取得による支出	△678	△691
有形及び無形固定資産の売却による収入	29	1
関係会社の減資による収入	—	79
関係会社株式の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△5	—
貸付金の回収による収入	16	7
その他	△60	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,015	△1,080
長期借入金の返済による支出	△919	△1,344
社債の償還による支出	△11	△11
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△263	△263
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
リース債務の返済による支出	△21	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,232	△2,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	177	△384
現金及び現金同等物の期首残高	16,600	19,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,777	19,262

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,290	9,568	8,603	42,462	—	42,462
セグメント間の内部売上 高又は振替高	75	0	316	392	△392	—
計	24,366	9,569	8,919	42,854	△392	42,462
セグメント利益	517	452	60	1,029	△48	981

(注) 1 セグメント利益の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額△19百万円及びたな卸資産の調整額△55百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,089	12,482	8,069	45,641	—	45,641
セグメント間の内部売上 高又は振替高	83	30	365	479	△479	—
計	25,172	12,512	8,435	46,121	△479	45,641
セグメント利益	1,516	782	156	2,455	180	2,635

(注) 1 セグメント利益の調整額180百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額324百万円及びたな卸資産の調整額△170百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。